

地域×行政

防災さんぽ報告書

— 東文化会町内会編 —
(仙台市若林区)



日時

2020年11月7日(土)
9:30~12:00

場所

東文化会町内会地区内の道路



～ 『防災さんぽ』を行いました ～

私達の町内会では、地域の安全・安心・美化など生活環境の整備を中心に活動しております。この度、関係団体の皆様の協力により、普段から利用している近所の道路が、通勤・通学時や地震等の自然災害発生時に、揺れ等によるブロック塀の倒壊や屋根瓦等の落下物のおそれがないか等、あらためて安全に通行できるかという視点でまち歩きを行いました。子どもから大人まで一緒にまち歩きをすることによって「顔が見える関係」が築かれ、また、お互いの話を聞いてみたことで生まれた「気づき」によって、防災意識を向上していくことが大切だと感じました。



東文化会防災さんぽ実行委員会
東文化会 会長 吉目木 邦昭

参加者

◆町内会等 【23名】

東文化会、一本杉町内会、保春院前丁町内会、中文化町内会、水無月町内会、遠見塚北親会、遠見塚地域包括支援センター、菅原正和市議会議員

◆子供会 【5名】

東文化子供会

◆建設事業者団体 【7名】

社の都建設協同組合（組合事務局、皆成建設株、栗村建設興業株、サイト工業株、仙舗建設株）
（※地震災害時に若林区内の避難所等の安全確認を行う団体）

◆アドバイザー 【1名】

特定非営利活動法人都市デザインワークス 佐藤芳治さん

◆若林区役所 【10名】

まちづくり推進課、区民生活課、公園課、道路課、街並み形成課

合計 46 名

プログラム

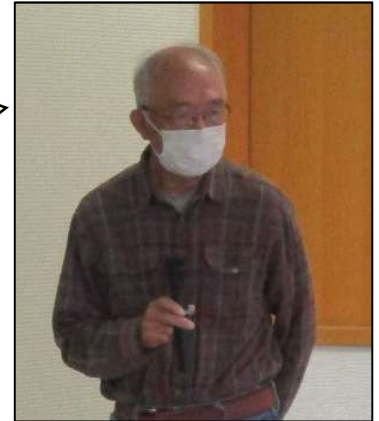
9:30	開会・始めのあいさつ、説明	(若林区中央市民センター)
9:45	防災さんぽ	(東文化会町内会地区内)
11:00	防災さんぽ結果のまとめ・発表	(若林区中央市民センター)
12:00	閉会・終わりのあいさつ	

開会・始めのあいさつ、説明

南小泉地区町内連合会の副会長（第7ブロック長）川村幸宏さんから始めのあいさつがあり、若林区役所の職員が防災さんぽの進め方や趣旨説明を行いました。

始めのあいさつ

平成30年に発生した大阪北部地震で小学生が犠牲となったことをきっかけに、ブロック塀の危険性が再認識されました。そこで、地域に多くあるブロック塀の安全対策について区役所と協議をしてきました。本日は町内会や建設事業者団体、区役所が協力して実際に現地を歩いてみます。この活動を通じてしっかり現状を把握し、地域の安全安心を向上させていきたいと思ひます。



南小泉地区町内連合会副会長
(第7ブロック長・一本杉町内会長)
川村幸宏さん

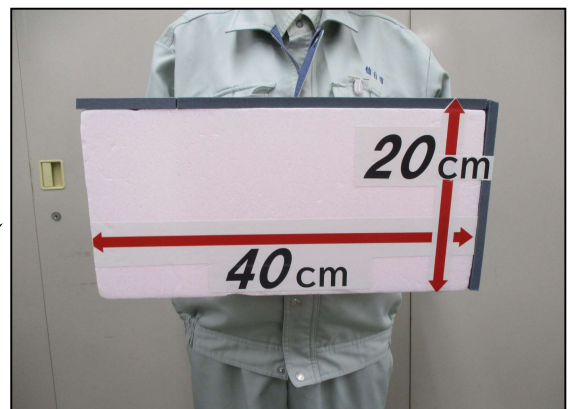
防災さんぽの進め方について説明

・若林区役所職員から趣旨やスケジュール、調査の方法などについて説明がありました。



ブロック塀などは高さの測定と位置の確認のみ行ひます。危険性の程度を判定するものではありません。

コンクリートブロックは1個の重さが約10kgもあります！



コンクリートブロック1個のサイズ（模型）

防災さんぽ

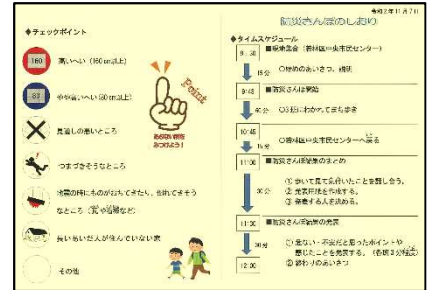
3班に分かれて、まち歩きをしながら気になる箇所を確認しました。他の参加者の意見を聞きながら、各々の「新たな発見」や「気づき」により、防災意識の高まりを感じました。

① 進め方

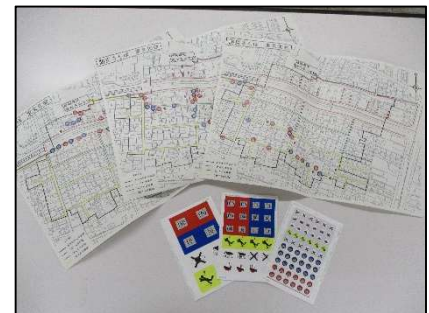
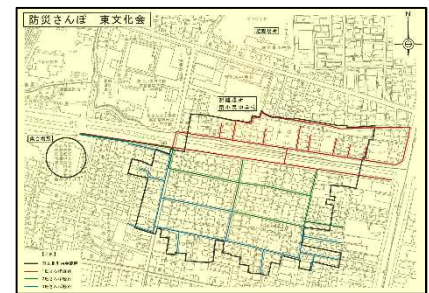
- 高いブロック塀や、道路にもものが落ちてきそうな箇所などについて、記録用紙にシールを貼りました。
- ブロック塀等の高さは専用の測定棒で測定しました。

② さんぽの様子

- 快晴で歩きやすい気候でした。町内会や子供会の方々が測定棒を持って、積極的に実測調査を行いました。
- 参加者の方から、過去の地震時の様子などの話をいただきました。
- マスコミの方も取材に来ていました。



▶ 防災さんぽのしおり



参加者のコメント

夜間の危険性についても知る機会があるといいな。

近所の道には屋根瓦や煙突など、落ちてきそうなものがあるね。

ブロック塀を生垣に変えたらどうだろう。

古いブロック塀がたくさんあるな、ヒビが入っているものもあるよ。

水路にフタがかけられていた。ここを歩けることを知らなかった。

古い自動販売機はしっかり固定されているのかな？



防災さんぽ結果のまとめ

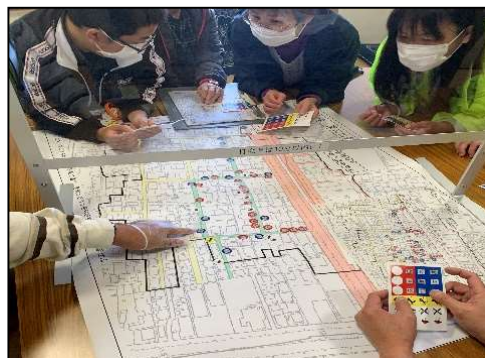
各班ごとに発表資料を作りながら、気づいたことなどについて話し合いました。

① 進め方

- 発表用の資料を作成しながら、それぞれの参加者が「気づいたこと」や「みんなに伝えたいこと」、「感想など」を発言しました。

② まとめの様子

- コロナウィルス感染予防に配慮しながら、楽しく作業を進めました。
- 他の参加者の発言によって新たな「気づき」があり、うなずく場面もありました。



参加者のコメント

① 気づきなどの意見

80 cmの高さの塀でも、意外と高く感じた。

行き止まりの道が意外と多いなと感じた。

昔からある家ではブロック塀が多く、新しい家には塀が少ないと感じた。

ガスボンベや電柱が倒れてくると危ないと思った。

数センチの段差でも高齢者にとっては、つまづきやすい危険箇所になる。



② 感想など

通ったことのない道も歩くことができたので参加してよかった。

日ごろ気にしていないことが、災害時に危険となる場合があるということが認識できた。万が一の際は少しでも危険回避できるのではないかと思う。

防災さんぽ結果の発表

各班から、防災さんぽの結果を発表しました。

① 進め方

- 各班の代表者が、地図や写真、資料を使ってまとめた結果を発表しました。
- 発表後にアドバイザーからコメントをいただきました。



② 発表の様子

- 町内会にお住まいの方や小学生の方など、様々な視点から意見が出ました。
- 班ごとに異なった「気づき」があり、他の参加者も真剣に聞いていました。
- 各班とも素晴らしい発表で、発表が終わると盛大な拍手が起こりました。

◆ 1班の発表



- 防災についていろいろな話をしながら散歩をしました。
- 南小泉中学校付近の道などで5cm程度の段差がある。避難時などはつまづいて転んでしまうかもしれない。
- これからも地域と仙台市が一緒になって、安全な環境を目指していきたいです。

◆ 2班の発表

- ブロック塀以外にもガスボンベや自動販売機など、危険とを感じるものがある。
- 「防災さんぽ」は昼だったが、夜間の災害での危険も考える必要がある。
- 交差点付近に高いブロック塀があるなど、見通しの悪い箇所があった。



◆ 3班の発表



- 3班は子どもの目線で散歩をしました。
- 思ったより高い塀があり、屋根瓦など落下の危険を感じるものもあった。
- 区役所職員から生垣にする際の助成などの話を聞きました。
- 防災さんぽのことを学校の友達に伝えたいです。

杜の都建設協同組合からのあいさつ

杜の都建設協同組合の我妻専務理事より、あいさつがありました。



杜の都建設協同組合は土木工事、建築工事、舗装工事を担う60余の会社で構成され、宮城県や仙台市などの公共工事に携わっております。今回の「防災さんぽ」のような安全のためのインフラの「維持」を目的とした取り組みは、当組合の目指すところでもあります。今後も、地域貢献として地域の方々と行政と一緒に活動していきたいと思っております。

閉会・終わりのあいさつ

若林区役所街並み形成課の阿部課長より、閉会のあいさつがありました。

「防災さんぽ」は、近所を改めて確認してみても日頃から防災を意識することで大きな地震の時でも身体の安全を守るように備えることを提案しているものです。

地域と専門家団体と行政の「連携」した取り組みと、緊密なコミュニケーションの場を通じて互いに支え合い、「協働」で安全安心に生活できることは大切です。こういうことでも地域の魅力アップにも繋がられるのではないかと思います。

今回のような活動が防災意識の向上の一助となるよう、他の地域にも広くお知らせしていきたいと思っております。皆様、本日はありがとうございました。



特定非営利活動法人
都市デザインワークス理事
佐藤 芳治さん

六郷東部地区まちづくりやふるさとの杜再生プロジェクトなど、市民主体のまちづくりを支援するとともに、仙台市の都市計画など広域な計画にも携わった経験を持つまちづくりの専門家

【アドバイザーからのコメント】

町内会や子供会の人と建設のプロの方々や区役所のチームワークのおかげで効果的に地域を回れました。グループワークでは、夜間の危険性や自動車交通の危険性などにも話が及び、防災をきっかけに町のことを改めて考える良いきっかけになったと思います。子供は家の周りの外や道路でちょっとした遊びをするものですから、防災面、交通面、明るさも含め地域で安心して過ごせるようになることがとても大切です。また、こうして膝を合わせて意見交換する場があることが、非常時のスムーズな連携に繋がるため、今回の取り組みは大変有意義なものであり、他の地域のモデルになると思います。

《参加者から様々なコメントがありました》

- ・ 区役所南側の街路樹の枝葉がだいぶ伸びてきているな。
- ・ 落ちてきそうな屋根瓦があるよ。
- ・ 人が住んでいない家のブロック塀の管理が不全で危険であると感じる。
- ・ 生垣を設置するときの助成はあるの？
- ・ いつも車でしか通っていないので、塀などが意外と高いと感じた。
- ・ ブロック塀が意外と多いな。
- ・ 瓦が落ちてきそうな家もあったよ。
- ・ とてもいい活動だと思った。
- ・ マンホールの出っ張りが危険に感じた。
- ・ 倒れてきそうな自動販売機があったよ。なんとかしてほしい。
- ・ 大変良い企画で、今後も続けていければよいと思った。
- ・ 見通しが悪い交差点なのに、カーブミラーが付いていないところがあったよ。
- ・ 私道は整備しづらい。
- ・ 狭い道路にある電柱が危ないと思った。
- ・ 普段気にしていなかったが、今回の活動で気付くことがたくさんあった。
- ・ 学校の友達に今日の事を話したいと思ったよ。

《報道機関の取材がありました》

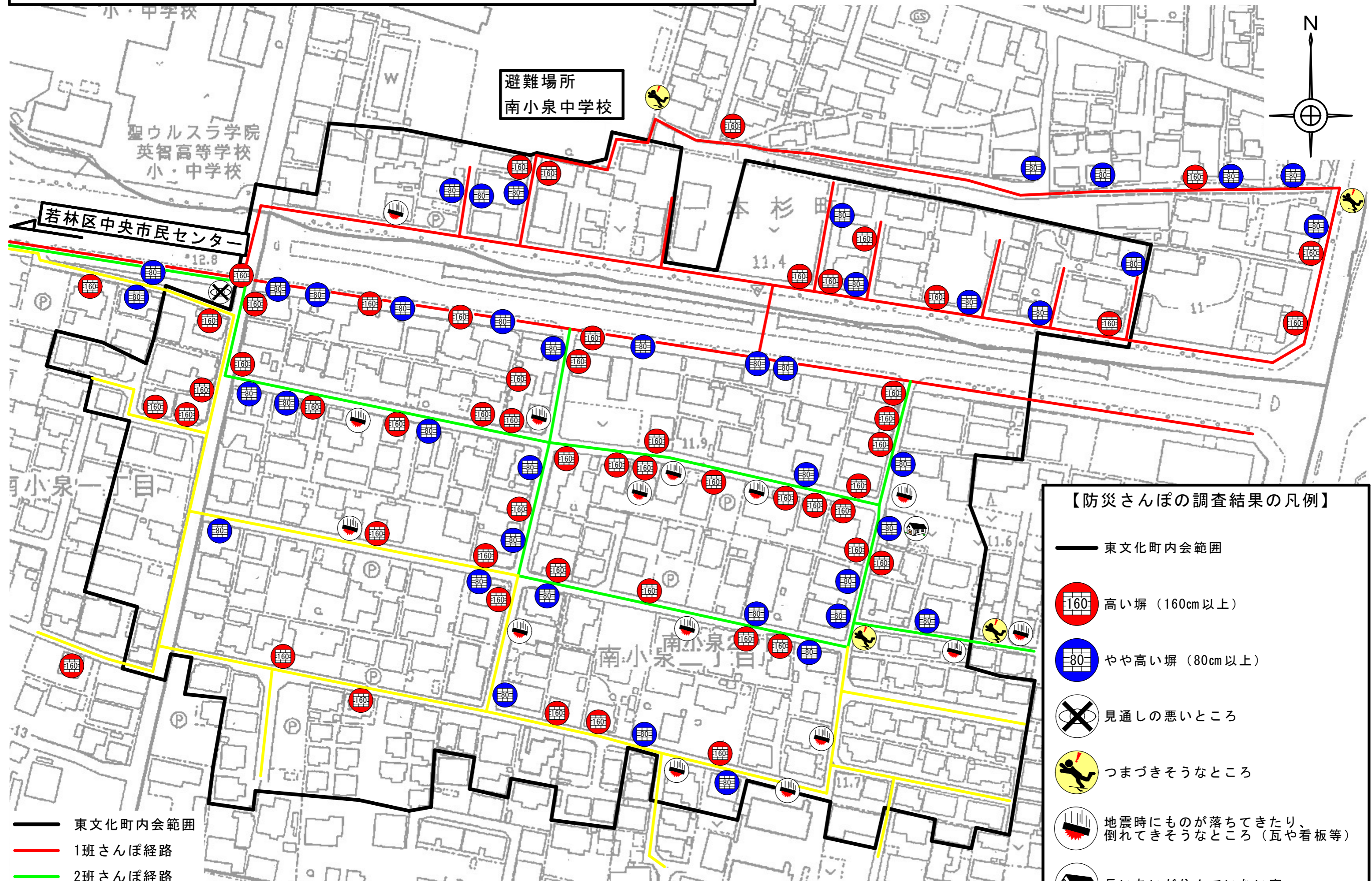


取材に来た報道機関

- ・ 河北新報社
- ・ 東北放送
- ・ 宮城テレビ放送
- ・ 仙台放送
- ・ 建設新聞社
- ・ 日本建設新聞社

防災さんぽ調査結果マップ 東文化会 (令和2年11月7日時点)

※このマップは危険性を判断しているものではありません。



- 東文化町内会範囲
- 1班さんぽ経路
- 2班さんぽ経路
- 3班さんぽ経路

【防災さんぽの調査結果の凡例】

- 高い塀 (160cm以上)
- やや高い塀 (80cm以上)
- 見通しの悪いところ
- つまづきそうなところ
- 地震時にものが落ちてきたり、倒れてきそうなところ (瓦や看板等)
- 長いあいだ住んでいない家

※このマップは調査当時の状況を示したものです。その後改善されている箇所もあります。

工事の相談に関する問い合わせ先

■ブロック塀等の撤去・補修工事等を行う場合の問い合わせ

- ・ 宮城県コンクリートブロック協業組合 TEL 0223-34-1360
- ・ 一般社団法人宮城県エクステリア協会 TEL 022-344-6225

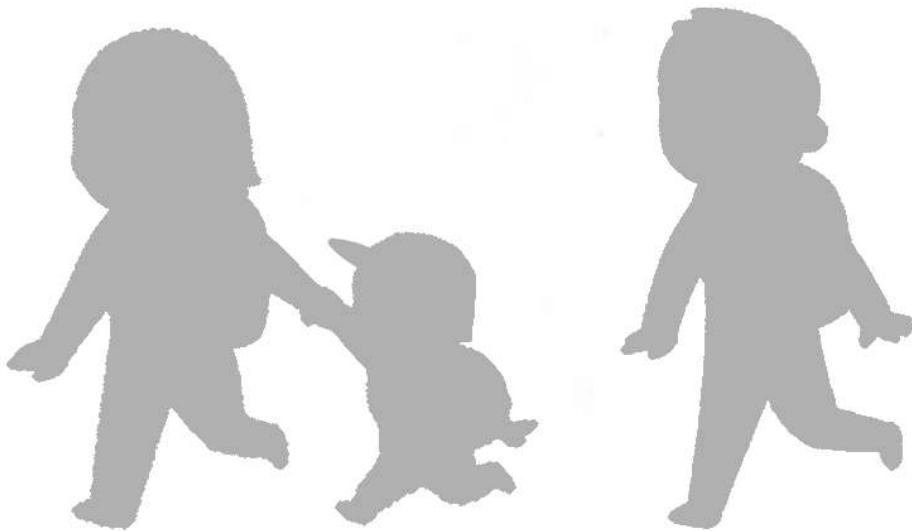
■上記工事のほか、住宅の新築や改修、土木工作物建設、駐車場舗装などについての問い合わせ

- ・ 杜の都建設協同組合 TEL 022-395-4344
(「防災さんぽ」に参加した建設事業者団体)

助成に関する問い合わせ先

■公道等に面しているブロック塀等については、「ブロック塀等除却工事補助金交付事業」や「生垣づくり助成事業」などの支援制度もあります。

- ・ 各区役所 街並み形成課
(若林区 街並み形成課 街並み係 TEL 022-282-1111)



令和3年1月

東文化会防災さんぽ実行委員会 編集